

## ～5月の朝礼～

学校長 佐野 健

5月1日になりました。4月5日の入学式。4月7日の始業式までは行えたのですが、4月8日から臨時休業になってしまいました。

始業式のご挨拶の冒頭では。

「いよいよ令和2年度がはじまりました。4月5日には、高校、中学の入学式がそれぞれ行われ、（高校1年生175名、 中学1年生99名）新たな藤嶺藤沢の学友を迎えることができました。今年の桜の開花は早かったようですが、ソメイヨシノは見頃を迎え、大銀杏の芽吹きも鮮やかに諸君の新学期を応援してくれているようです。しかし、2020年度のスタートにあたり、今、世界が新型コロナウイルスの感染拡大に苦しんでいます。パンデミック（世界的大流行）・クラスター（集団感染）・オーバーシュート（爆発的な感染拡大）・ロックダウン（都市閉鎖）今まで聞き慣れない言葉が、日常的に使われています。そして、感染予防の対策は、密閉・密集・密接をさけること。不要不急の外出をさけること。丁寧な手洗い・換気・咳エチケットにしっかり取り組むこと。十分な睡眠とバランスのとれた食事をとること。などと言われています。これらのことを冷静に受け止めてみると、「基本的な生活習慣」の大切さが、再認識されているように思います。学校生活の根幹も、規則正しい生活のリズムを如何に作り上げるかと言うことです。」とお話をしました。

その翌日、4月8日から「新型コロナウイルスの拡散」の影響により、緊急事態宣言が出され、あっという間に全国の学校が臨時休校となってしまいました。緊急事態宣言は5月6日までとの発表でしたが、約30日に及ぶ、外出自粛は、生徒の皆さん・ご家族の方々にとって、大変な我慢や不安、ご苦労があったのではないかと思います。

5月1日、本日のメール配信でお知らせしましたが、5月6日までの臨時休校は、5月31日まで延長することにいたしました。時差登校や分散登校も検討致しましたが、現状を考えますと、それらも非常に難しい状況にあります。また、4月28日のメール配信でお知らせしましたようにオンラインの映像授業やHRを5月11日より開始いたします。YouTubeによる「授業動画」・ZoomをつかったのHRを実施しますが、先生方も生徒の皆さんも戸惑いを感じることを思います。しかし、学びを深めていくには、生徒の皆さんの主体性が必要になります。映像を何度も繰り返してみることで、内容理解が深まることもあるでしょう。学校が再開されたとき、学び方や授業の受け方に変化を生み出すチャンスでもあると思います。

ところで皆さんは「安居・あんご」という言葉を知っていますか。「夏安居・げあんご」とも言います。安居は梵語で雨期の意味です。昔のインドの仏教寺院の制度で、日本にも入ってきたといわれています。仏教で僧侶が一定期間外出しないで、一室にこもって修行することです。陰暦の4月16日～7月15日、90日間の修行になります。安居に入ることを「夏入り」といい、安居を解くのを「解夏」「夏の終わり」といいます。外出自粛は本当に大変ですが、学校再開に向けて自分なりの「夏安居」、集中して勉学に勤しむ時間を計画してみましょう。

本来の授業、学校行事が延期、中止となり、なかなか生活のペースがつかめないとあります。こんな状況ではありますが、自分なりに考えて、日々の生活を送ってみたいと思います。じっくりと本を読むこともできます。集中して、得意科目・苦手科目に取り組むこともできます。大胆に、新しい単元にチャレンジすることもいいでしょう。「自ら行動する」「主体的に何かを学ぶ」そして、基礎基本の学習を丹念に積み上げて、自分の学習スタイルを作り、「自分の方法」を発見して下さい。学校再開が待ち遠しいというぐらいに、モチベーションを高めていきましょう。令和2年度は人生に一度しかありません。今日からやりましょう。できることから始めましょう。小さな目標から達成させる。それを続けていけば、かならず大きな目標を達成させることができる自分に出会えるはずです。諸君の日々の生活に大いに期待します。

最後に、新中学1年生、新高校1年生はクラスの仲間と二度会ったばかりで、新たな出会い、学校生活が始まったとは言えない状況でしょう。生活面・学習面本当に不安や心配事がたくさんあると思います。外出自粛で家にいると、イライラすることや気持ちがなえてしまうこともあるかと思います。しかし、この「緊急事態」もいずれ解除されるわけです。今は、自分の命、家族の命、大切な人の命、すべての人の命に関わる事態なのだ意識して欲しいと思います。

令和という時代のはじまりに全国の園児、児童、生徒、学生が、今までに経験したことのない我慢を求められています。この「緊急事態」を生徒の皆さんとともに乗り越えて、藤嶺藤沢のキャンパスに皆さんの明るい笑顔、元気な声、躍動する姿が戻ってくる日を信じています。生徒の皆さん、どうか、学校再開まで健康観察をしっかりと継続してください。それでは、これを持ちまして、5月の朝礼のご挨拶とします。